



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社
 コード番号 8158 URL <http://www.sodanikka.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長洲 崇彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 毛利 正人

TEL 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	75,267	5.0	884	20.0	1,136	17.8	719	22.4
2019年3月期第3四半期	79,259	8.4	1,104	20.8	1,383	22.6	926	25.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,119百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 409百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.81	
2019年3月期第3四半期	37.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	64,941	24,762	38.1
2019年3月期	63,001	23,971	38.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 24,762百万円 2019年3月期 23,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		7.00	14.00
2020年3月期		7.00			
2020年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,500	4.6	980	28.8	1,250	25.8	820	26.7	32.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	25,168,000 株	2019年3月期	25,168,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	192,677 株	2019年3月期	226,176 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	24,961,432 株	2019年3月期3Q	24,941,825 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調が続いたものの、日本国内における製造業の生産や輸出の弱含み、通商問題や中国経済の先行き、原油価格の上昇懸念等、企業の業況判断は慎重なものとなっています。

当社グループに関係の深い業界につきましても、同様に生産に慎重な姿勢が見られ、先行き不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループにおきましては、当事業年度より新中期経営計画「Go forward STAGE2」を始動させ、前中期経営計画「Go forward STAGE1」で築き上げた土台を基に将来の飛躍に向けた成長軌道を切り開くことを目標としております。その達成のため、国内市場においては収益基盤の徹底強化を図るとともに、新たなビジネスチェーンの構築を目指し、海外市場においては中国・ASEAN地域における、更なる市場の開拓を図っております。これらの基本方針を掲げ、当連結累計期間からの事業活動に注力してまいりました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高752億6千7百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益8億8千4百万円（同20.0%減）、経常利益11億3千6百万円（同17.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億1千9百万円（同22.4%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは取扱数量の減少により減収となりました。その他の商品では次亜塩素酸ソーダが市況の回復により、マンガン化合物が輸出の増加により増収となりましたが、塩素酸ソーダ及び水酸化マグネシウムは取扱数量の減少により減収となりました。

有機薬品につきましては、フロン溶剤が洗浄剤用途で好調であったことにより増収となりましたが、その他の石油化学製品は取扱数量の減少により減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ2.5%減の564億3千2百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ2.8%減の19億9百万円となりました。

【機能材事業】

包装材料につきましては、ポリプロピレンフィルム及びナイロンフィルムは中国向け輸出の好調により増収となりましたが、複合フィルムは取扱数量の減少で減収となりました。

合成樹脂につきましては、発泡製品がインフラ向けの需要が伸長し増収となりましたが、ポリエチレン樹脂は単価下落により減収となりました。

機器類につきましては、電気関連機器と包装関連機器が大型案件の減少により減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ12.9%減の170億3千8百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ19.8%減の4億3百万円となりました。

【その他事業】

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ2.2%減の17億9千5百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ7.4%減の6千6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態の分析】

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ19億3千9百万円増加いたしました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が13億4千9百万円、投資有価証券が6億5百万円それぞれ増加しました。負債の部では、支払手形及び買掛金が9億5千4百万円、繰延税金負債が2億1千1百万円それぞれ増加いたしました。純資産の部では、利益剰余金が3億6千9百万円、その他有価証券評価差額金が4億1千1百万円それぞれ増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中国発の新型コロナウイルスによる肺炎の拡大などにより、世界景気の減速が懸念されており、当社グループに関係の深い業界につきましても先行きが一層不透明な状況となっております。

つきましては、2019年5月9日に開示しました2020年3月期の通期の連結業績予想は、主力商品の市況低迷等、最近の化学品事業及び機能材事業の業績動向を踏まえ次のとおり修正いたします。

2020年3月期 通期（2019年4月1日～2020年3月31日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	110,000	1,190	1,440	960	38.44
今回修正予想(B)	99,500	980	1,250	820	32.83
増減額(B-A)	△ 10,500	△ 210	△ 190	△ 140	—
増減率(%)	△ 9.5	△ 17.6	△ 13.2	△ 14.6	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	104,319	1,376	1,683	1,118	44.83

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,281	10,630
受取手形及び売掛金	38,011	37,610
商品及び製品	1,131	1,019
その他	513	1,047
貸倒引当金	△33	△31
流動資産合計	48,904	50,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	439	415
車両運搬具(純額)	9	9
土地	1,087	1,087
その他(純額)	126	141
有形固定資産合計	1,663	1,654
無形固定資産		
	409	393
投資その他の資産		
投資有価証券	11,338	11,943
その他	702	680
貸倒引当金	△17	△7
投資その他の資産合計	12,023	12,617
固定資産合計	14,097	14,664
資産合計	63,001	64,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,508	30,462
短期借入金	5,071	5,074
未払法人税等	287	78
賞与引当金	263	139
役員賞与引当金	34	25
損害補償損失引当金	-	41
その他	662	947
流動負債合計	35,827	36,769
固定負債		
繰延税金負債	1,406	1,618
再評価に係る繰延税金負債	194	194
退職給付に係る負債	1,071	1,086
長期預り保証金	523	503
その他	7	6
固定負債合計	3,202	3,409
負債合計	39,029	40,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,140
利益剰余金	12,607	12,976
自己株式	△64	△54
株主資本合計	19,435	19,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,417	4,828
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	148	148
為替換算調整勘定	27	5
退職給付に係る調整累計額	△55	△47
その他の包括利益累計額合計	4,536	4,936
純資産合計	23,971	24,762
負債純資産合計	63,001	64,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	79,259	75,267
売上原価	73,970	70,227
売上総利益	5,288	5,039
販売費及び一般管理費	4,183	4,155
営業利益	1,104	884
営業外収益		
受取利息及び配当金	243	266
その他	73	32
営業外収益合計	317	299
営業外費用		
支払利息	27	28
売上割引	4	7
その他	6	9
営業外費用合計	38	46
経常利益	1,383	1,136
特別損失		
損害補償損失引当金繰入額	-	42
特別損失合計	-	42
税金等調整前四半期純利益	1,383	1,094
法人税、住民税及び事業税	376	343
法人税等調整額	80	31
法人税等合計	456	375
四半期純利益	926	719
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	926	719

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	926	719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,308	411
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	△36	△21
退職給付に係る調整額	4	8
その他の包括利益合計	△1,336	400
四半期包括利益	△409	1,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△409	1,119
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	57,857	19,565	1,835	79,259	—	79,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,941	1,941	△ 1,941	—
計	57,857	19,565	3,777	81,200	△ 1,941	79,259
セグメント利益	1,963	503	72	2,539	△ 1,434	1,104

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,434百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	56,432	17,038	1,795	75,267	—	75,267
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,753	1,753	△ 1,753	—
計	56,432	17,038	3,549	77,021	△ 1,753	75,267
セグメント利益	1,909	403	66	2,379	△ 1,495	884

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,495百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。